

日華化学の“いま”をダイレクトに伝える

GLOBE

グローブ

第91期中間 営業のご報告

平成16年4月1日～平成16年9月30日

NICCA CHALLENGE 2004

コンシューマー向けボディケア化粧品で
ライフケア分野に本格参入

開発最前線

スペシャルティケミカルカンパニー

セミドライ加工用

水溶性切削油剤

「サンダッシュM-001」





代表取締役会長
江守幹男

株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は、格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、ここに日華化学グループの第91期(平成16年4月1日～平成17年3月31日)中間期における事業の概況につきましてご報告申し上げます。

当中間期のわが国経済は、デフレ経済の懸念が後退し、設備投資のすそ野が非製造業にも拡大するとともに雇用状況や個人消費の持ち直しも見え始めております。しかしながら、原油価格の高騰等もあり、成長速度をやや緩

めながら回復基調を保っております。一方、海外におきましては、米国・中国の景気減速懸念等により先行不透明感が表れ始めました。

こうした中、当社グループは、中国市場へのさらなる強化を図るとともにベトナム拠点の新工場も来春完成する予定となり、アジアNo.1を目指してまた一步前進いたしました。さらに、新製品の開発・発売を推進し、本年度戦略のひとつである新規事業の立ち上げにも注力してまいりました。株主の皆様には、新たな発展に向けて今後ともより一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成16年12月



代表取締役社長
江守康昌

コンシューマー事業へ本格参入

ソフラベルダ

新ブランド『Sophorabeldad』 天然素材の機能を活かしたボディケア 化粧品をダイレクトに“通心販売”

当社の営業上の特色はプロユース(業務用)に限った商品展開でしたが、そこから一歩踏み出して、今年9月、コンシューマー(消費者)向け商品を全国一斉に発売しました。天然クララエキスを使った「ソフラベルダ」ボディケアシリーズです。

「通心販売」でお客様と直接 コミュニケーション

「ソフラベルダ」はいつまでも美しく輝いていたいと願うすべての女性に提案する化粧品です。塗ってマッサージすることによって肌をひきしめるボディリアクターと、ボディケアクリーム、ボディソープの3アイテムで構成されています。

商品化は、美容・健康分野での事業拡張を目指し昨年9月に立ち上げたライフケア事業部が手掛けました。当社社長の江守康昌が「お客様と感動を共有できる新しい価値の創造が当社の経営理念の一つ」と語るように、当社研究開発本部が続けてきた天然物機能の基礎研究の成果を活かし、クララエキスをはじめとする天然の植物成分を配合して、作られた美でなく自然な美を引き出そうとしています。

同シリーズの販売にあたっては、消費者との対話とコミュニケーションを重視して、代理店やショップを介在させない通信販売の手法を採用しました。電話・FAX・インターネットによる受注・販売を基本に、お客様の悩みをきめ細かくサポートするだけでなく、美容全般についてアドバイスするライフケアアドバイザーによる、作り手の心とお客様の心が通い合う“通心販売”の実現を目指します。「イメージやコストで売るのではなく、お客様に喜ばれる価値や機能を備えた商品づくりを行い、それを必要とされるお客様にダイレクトに販売していく戦略です」(社長・江守)。

一般消費者に直接販売する商品は、プロユースの製品を開発・販売してきた当社にとって、長く構想に描いてきた夢でした。美容室向けの化粧品を製造・販売する「DEMI(デミ)」とは一線を画す、コンシューマー向け新ブランドの確立と美容・健康分野への参入は、当社が培ってきた技術力が、社会全般に理解され広く活かされていくきっかけとなり、今後の業容拡大にも貢献していきます。

N I C C A
CHALLENGE
2 0 0 4

日華化学は、世界を舞台にグローバルネットワーク戦略を展開しながら、今日の変革の時代にふさわしい、パフォーマンスケミカル企業へと進化しています。その果敢なチャレンジの一端をニュースとして紹介します。



左から/ソフラベルダのボディソープ、ボディリアクター、ボディケアクリーム

商品のご注文・お問い合わせは

受付時間 午前9時～午後9時(日曜祝日を除く)

0120-266-184

FAX 0120-265-114

インターネット <http://www.lc.nicca.co.jp>

日華化学ライフケア事業部



浸水被害に遭われたお宅に業務用消臭剤「クリーストAS-300」を散布

地域社会への貢献

水害被災地へのボランティア支援や 日華見学会の開催、全社地域清掃

7月の福井豪雨後のボランティア活動や福井本社、鯖江工場、関東工場での日華見学会の開催など、日華化学では地域社会に貢献する企業活動に日頃から取り組んでいます。

浸水した家屋や建物に消臭剤散布

今年7月18日の福井豪雨では、福井市などで多くの住宅・建物が浸水の被害に遭われましたが、水がひいた後にもおいが残ることから、業務用消臭剤「クリーストAS-300」を散布するボランティアに当社社員が取り組みました。散布に回りきれなかった家庭には災害対策本部を通じ同品をペットボトルに詰めて配布してもらいました。社員のボランティア休暇取得も積極的に奨励し、泥の掃き出し作業など被災地支援に取り組みました。



実験教室は子供たちに大人気

また、10月23日に発生した新潟県中越地震の被災地にも当社社員がボランティア支援に赴き、共同トイレへの消臭剤散布などを行いました。

日華見学会を毎年、開催

日華化学では、毎年、地域住民や子供たちを招いて、本社工場や研究所を公開する見学会を行っています。今年は新たなイベントも加えて7月25日に開催。200名を超える地域住民の方が参加しました。

当社自衛消防隊の実演や消火体験、屋台バイキングなど大変盛況で、なかでも子供たちに人気だったのは、当社研究員が実施した「実験教室」でした。凍ったバナナで釘を打ったり、界面活性剤で水槽に浮かべたボートを進める実験に、集まった子供たちが目を輝かせて見入っていました。

こうした取り組みについて社長の江守は「当社では、毎月1回、本社周辺半径約500m以内の清掃活動も行っており、地域社会への貢献を意識した活動を行っています。企業評価の一つの指標として、CSR（企業の社会的責任）に近年、関心が高まっていますが、かねてから当社はこうした活動を続けてきており、今後も自分たちにできることから取り組むようにしていきます」と語っています。



ハウスホールドカンパニーが 中国進出。 上海・北京の展示会で好反響

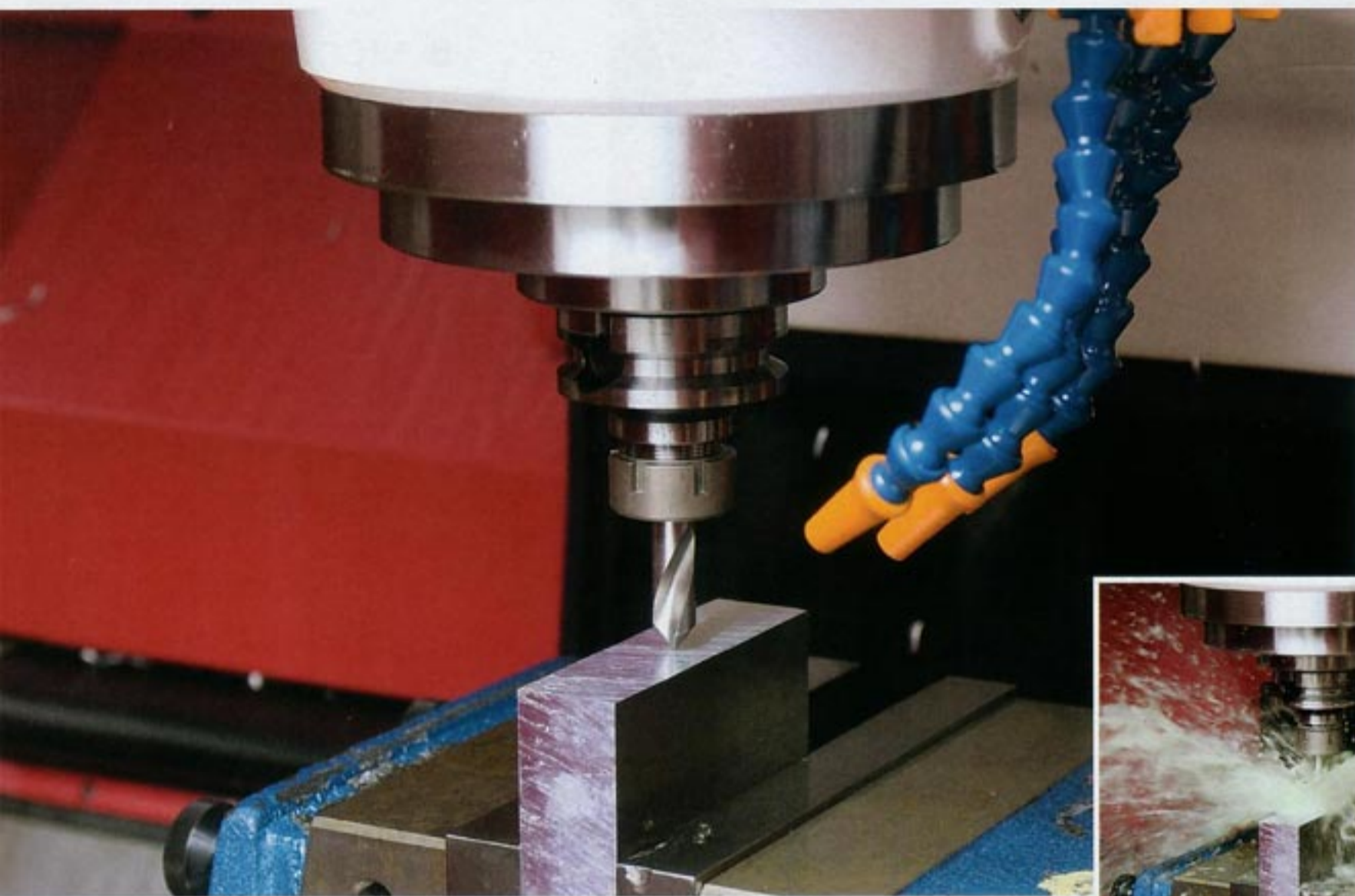
「2004年中国クリーニング商品及びクリーニング業界特許加盟展覧会」が去る8月に中国・上海市（7日～9日）と北京市（21日～23日）で開催され、当社ハウスホールドカンパニーが出展しました。上海・北京合わせて500名以上が当社ブースを訪れ、アンケートでは日華化学との商談を約70%の方が「進めたい」と答えてくれ、当社への関心の高さを感じました。

中国のクリーニング市場は、将来有望であり、ホテルなどのリネンクリーニングと家庭用衣類を洗濯するホームクリーニングに大別されます。これら、クリーニング市場で使用される薬剤の市場規模は、潜在的に200億円ほどと推定されます。

当社は、この10月から上海ソリューションセンターに現地スタッフを常駐させ、代理店開拓を始めました。日本のクリーニング薬剤メーカーとしては中国への参入第1号となります。

上海・北京での展示会で中国ではリネン品などの白さの再現性や前・後処理剤の機能に関心が高いことが分かり、ニーズに対応した商品をそろえ、まずはリネン用を中心とした販路開拓を進めていきます。





写真左●当社のセミドライ型切削油剤。霧状に吹きつけられ目に見えません

写真下●従来型の水溶性切削油剤は大量の水を使い、その処理にもコストがかかりました



開発最前線

トレンドの中の日華化学

テキスタイルケミカル
カンパニー

スペシャルティケミカル
カンパニー

ハウスホールド
カンパニー

デミ コスメティクス
カンパニー

ライフケア
事業部

オートケミカル
事業部

樹脂
事業部

エコロジー
事業部

アグリ
事業部

● 環境対応型・極少量スプレーでも十分な潤滑性を実現

セミドライ加工用 水溶性切削油剤 「サンダッシュM-001」

金属の切削加工において目に見えないレベルの霧状にして吹きつけ、極微量でありながら必要とされる潤滑性を確保した切削油剤を、当社研究開発本部スペシャルティケミカル開発部が開発しました。環境負荷と運転コストを抑える業界初の製品です。



「サンダッシュM-001」

研究開発本部スペシャルティケミカル開発部
金属・機能化学品グループ主任の山田理生



従来の水溶性油剤の 欠点を解消

金属の切削加工では、発生する摩擦熱を抑え、滑りやすくする切削油剤が用いられています。切削加工剤の市場は年間で335億円の規模。大別すると、うち6割が不水溶性、4割が水溶性となっています。不水溶性は発火の恐れがあるため、加工機の高速度化や大規模な

工場に多い24時間操業、無人化運転などには適していません。

一方、水溶性は、水などで希釈されて加工部分に絶えず吹きつけられており、流れ落ちた油剤は回収され、循環再利用されています。しかし、再利用のためのメンテナンスに手間がかかる上に、水の腐敗などで使用限界が来た後の廃液処理でもコストがかかります。廃液を出さずに運転コストを削減でき



切削機を使って試作品をテスト

る油剤の開発が金属加工業界からの隠れたニーズとなっていました。

デンソーとの 共同開発の中で評価

当社では、5年前から環境・コストの二面に配慮したセミドライ型切削油剤の開発に着手。2年前から自動車用等電装部品業界No.1のデンソーも開発に加わり、「サンダッシュM-001」を製品化しました。

セミドライ型は、不水溶性のものは既に製品化されていますが、発火性のほかに切削後の部品の洗浄にも難点があります。その点、水溶性の「サンダッシュM-001」は発火性もなく、水で簡単に洗い落とせます。

水溶性でありながら、不水溶性油剤を上回る潤滑性、冷却性、洗浄性の実現に、当社が長年にわたり培ってきた界面活性剤の技術が貢献しました。

性能については、「サンダッシュM-001」の試作品を評価してきたデンソー側からも高い評価を得ており、水溶性セミドライ型の当社製品が近い将来、切削油剤市場のスタンダードになることが期待されます。

COLUMN
ただいま
研究中

脂肪分解酵素リパーゼの 活性化を促す 天然物素材を発見

5年前から シーズ探しに着手

当社では、ライフサイエンス分野での活用を視野に入れ、5年前から研究開発部門で、さまざまな天然物が秘める新しい機能の探究をスタートしました。いわゆるシーズ探しです。

3年前には、何十種類にも及ぶ天然物の比較調査・研究から、漢方薬・生薬として知られているクララ[生薬名・苦参(くじん)]に高い脂肪分解促進機能があることをつきとめ、翌年、研究開発本部内に天然物機能グループを発足して本格的な研究開発を進めてきました。

研究の過程では、積極的に産学連携を行い、星薬科大学とは実際に脂肪細

胞を使って、クララから抽出したエキスがリパーゼ(脂肪分解酵素)を活性化するメカニズムを確認。金沢大学にはクララエキスを含めた植物エキスの安全性と効果の検証を委託、確認しました。

5年にわたってクララの研究をしてきた研究開発本部天然物機能グループのリーダーである宮本英和は「大学も交えた研究で、抗炎症・血流促進機能による肌荒れ緩和などクララの既に知られている効果に加えて、脂肪分解促進など新たな機能を見つけることができました。他の成分を組み合わせることで、より幅広い効果も期待できます」と話し、今後も天然素材の新機能の発見や応用開発に取り組んでいく予定です。



クララの機能研究に取り組む研究開発本部天然物機能グループリーダーの宮本英和(写真右)と、ライフサイエンス品質保証本部ライフサイエンス研究部ライフケア開発グループサブリーダーの亀岡郁雄(写真左)



クララエキスの肌への効果を確認(マイクロスコープ)

クララの根を乾燥させたもの



財務の状況

当中間連結会計期間（平成16年4月1日～平成16年9月30日）における経営成績は、売上高14,845百万円（前年同期比1.2%増）、営業利益817百万円（同1.6%減）、経常利益801百万円（同7.3%増）、中間純利益141百万円（同44.9%減）となりました。なお、当中間連結会計期間より「固定資産の減損に係る会計基準」を前倒し適用しております。

●貸借対照表(連結)

(単位:百万円)

科目	前中間期 平成15年9月30日現在	当中間期 平成16年9月30日現在	前期 平成16年3月31日現在	科目	前中間期 平成15年9月30日現在	当中間期 平成16年9月30日現在	前期 平成16年3月31日現在
(資産の部)				(負債の部)			
流動資産	15,991	15,499	14,857	流動負債	12,773	11,993	11,708
現金及び預金	3,132	2,651	3,278	支払手形及び買掛金	3,615	3,406	3,432
受取手形及び売掛金	7,658	7,757	6,915	短期借入金	7,248	6,624	6,352
有価証券	0	52	0	未払金	660	681	704
たな卸資産	4,341	4,267	4,104	賞与引当金	522	515	528
繰延税金資産	397	267	215	その他	726	765	690
その他	514	556	390	固定負債	8,110	7,517	8,307
貸倒引当金	△52	△54	△46	長期借入金	5,224	4,380	5,252
固定資産	15,880	15,139	15,709	繰延税金負債	15	0	4
有形固定資産	13,246	12,566	12,880	退職給付引当金	2,385	2,438	2,373
建物及び構築物	5,152	5,276	5,261	役員退職慰労引当金	—	188	182
機械装置及び運搬具	1,945	1,654	1,744	その他	485	509	493
土地	5,509	5,123	5,406	負債合計	20,883	19,511	20,016
その他	638	512	468	少数株主持分	1,270	1,618	1,170
無形固定資産	282	239	255	(資本の部)			
投資その他の資産	2,351	2,333	2,572	資本金	2,898	2,898	2,898
投資有価証券	930	880	1,017	資本剰余金	3,039	3,039	3,039
繰延税金資産	915	1,053	1,072	利益剰余金	4,460	4,458	4,460
その他	616	491	665	その他有価証券評価差額金	78	148	140
貸倒引当金	△111	△92	△182	為替換算調整勘定	△730	△1,006	△1,129
				自己株式	△28	△30	△29
資産合計	31,872	30,638	30,567	資本合計	9,717	9,508	9,380
				負債、少数株主持分及び資本合計	31,872	30,638	30,567

●損益計算書(連結)

(単位:百万円)

科目	前中間期 平成15年4月1日～平成15年9月30日	当中間期 平成16年4月1日～平成16年9月30日	前期 平成16年4月1日～平成16年9月30日
売上高	14,676	14,845	27,681
売上原価	9,664	9,760	18,211
売上純利益	5,011	5,085	9,470
販売費及び一般管理費	4,180	4,267	8,092
営業利益	830	817	1,377
営業外収益	81	101	188
営業外費用	166	117	365
経常利益	746	801	1,200
特別利益	45	5	46
特別損失	211	361	421
税金等調整前中間(当期)純利益	580	445	825
法人税等	214	176	319
少数株主利益	110	128	191
中間(当期)純利益	256	141	314

売上高(連結)

東南アジア、特に中国・韓国が好調だったことやタイの関連会社を子会社化して連結対象としたことによる増加が大きかったものの、国内子会社を解散したことや円高による為替の影響が響き、前中間期比1.2%増の14,845百万円となりました。

経常利益(連結)

原油高による原料費の高騰や新規事業に伴う初期費用が発生しましたが、全社的なコストダウンに努力したことや有利子負債の減少などにより前中間期比7.3%増加の801百万円となりました。

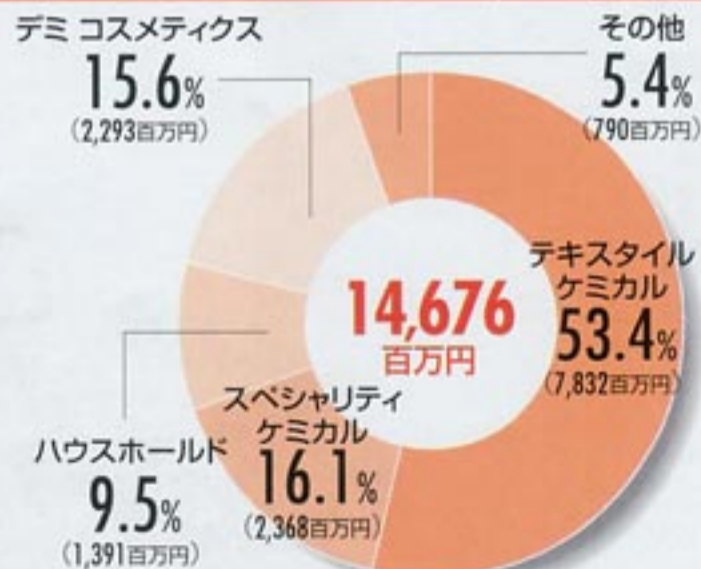
中間純利益(連結)

国内子会社等の固定資産について減損会計の前倒し適用を行い特別損失を計上したため、前中間期比44.9%減少の141百万円となりました。

●部門別売上高(連結)

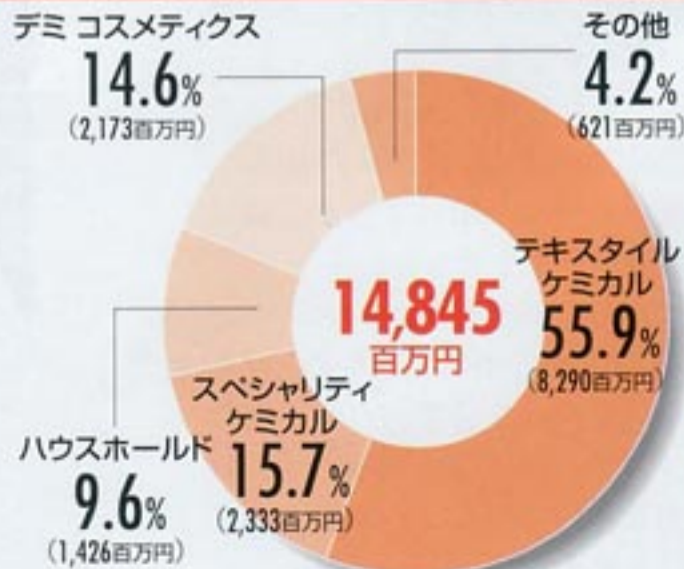
前中間期 (第90期)

平成15年4月1日～平成15年9月30日



当中間期 (第91期)

平成16年4月1日～平成16年9月30日



●貸借対照表(単体)

(単位:百万円)

科目	期別	前中間期 平成15年9月30日現在	当中間期 平成16年9月30日現在	前期 平成16年3月31日現在	科目	期別	前中間期 平成15年9月30日現在	当中間期 平成16年9月30日現在	前期 平成16年3月31日現在
(資産の部)					(負債の部)				
流動資産		9,598	9,691	9,655	流動負債		9,241	9,011	8,571
現金及び預金		802	692	1,121	支払手形及び買掛金		2,676	2,783	2,719
受取手形		1,400	1,300	1,199	短期借入金		3,850	3,405	3,034
売掛金		3,986	4,442	4,020	1年以内返済予定の長期借入金		1,465	1,545	1,600
たな卸資産		2,422	2,436	2,489	未払金		473	505	468
繰延税金資産		389	202	207	未払法人税等		12	68	20
その他		598	633	618	賞与引当金		415	420	405
貸倒引当金		△1	△17	△1	その他		347	283	323
固定資産		16,346	15,902	16,266	固定負債		7,254	6,987	7,693
有形固定資産		9,488	8,902	9,209	長期借入金		4,676	4,131	4,896
建物		3,647	3,471	3,564	退職給付引当金		2,100	2,163	2,127
機械及び装置		1,426	1,195	1,292	役員退職慰労引当金		—	188	182
土地		3,862	3,769	3,862	その他		476	503	486
その他		551	465	490	負債合計		16,495	15,999	16,265
無形固定資産		152	138	140	(資本の部)				
投資その他の資産		6,704	6,861	6,915	資本金		2,898	2,898	2,898
投資有価証券		556	693	667	資本剰余金		3,039	3,039	3,039
関係会社株式		3,775	3,858	3,844	利益剰余金		3,461	3,538	3,607
繰延税金資産		941	1,036	1,053	その他有価証券評価差額金		77	147	139
その他		1,623	1,364	1,526	自己株式		△28	△30	△29
資産合計		25,944	25,593	25,921	資本合計		9,448	9,594	9,656
					負債・資本合計		25,944	25,593	25,921

●損益計算書(単体)

(単位:百万円)

科目	期別	前中間期 平成15年4月1日～平成15年9月30日	当中間期 平成16年4月1日～平成16年9月30日	前期 平成15年4月1日～平成16年3月31日
売上高		10,299	10,613	20,037
売上原価		6,737	6,927	13,099
売上総利益		3,561	3,685	6,937
販売費及び一般管理費		3,262	3,353	6,316
営業利益		299	331	621
営業外収益		103	87	394
営業外費用		106	77	210
経常利益		297	341	805
特別利益		43	3	43
特別損失		202	156	423
税引前中間(当期)純利益		137	188	425
法人税等		83	114	173
中間(当期)純利益		53	74	252
前期繰越利益		302	362	302
中間配当額		—	—	52
中間(当期)未処分利益		355	436	501

売上高(単体)

テキスタイルケミカル部門でインテリア・カーテン等の産業資材関係が、またスペシャルティケミカル部門では情報記録紙用薬剤などが好調に推移しましたが、デミコスメティクス部門は苦戦しました。この結果、前中間期比3.0%増加の10,613百万円となりました。

経常利益(単体)

原油高による原料費の高騰や新規事業に伴う初期費用が発生しましたが、全社的なコストダウンの推進により前中間期比14.9%増加の341百万円となりました。

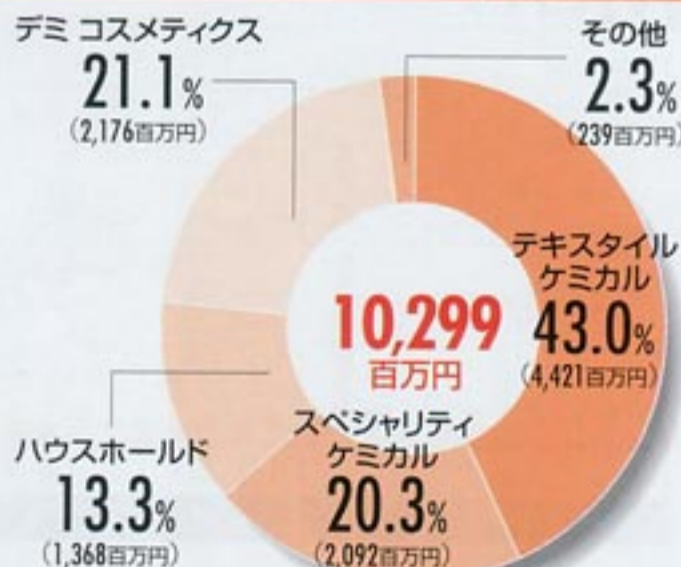
中間純利益(単体)

固定資産について減損会計の前倒し適用を行い、減損損失90百万円を計上しました。その結果、中間純利益は前中間期比37.9%増加の74百万円となりました。

●部門別売上高(単体)

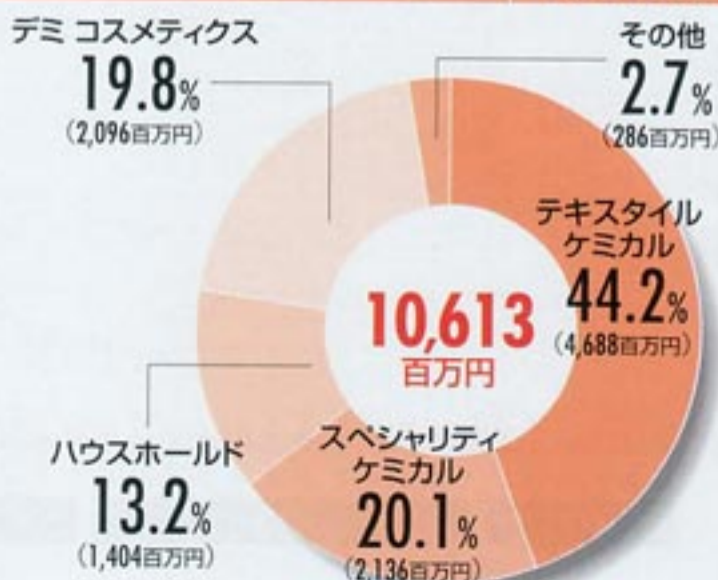
前中間期(第90期)

平成15年4月1日～平成15年9月30日



当中間期(第91期)

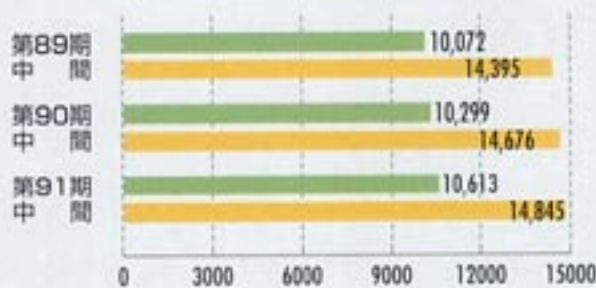
平成16年4月1日～平成16年9月30日



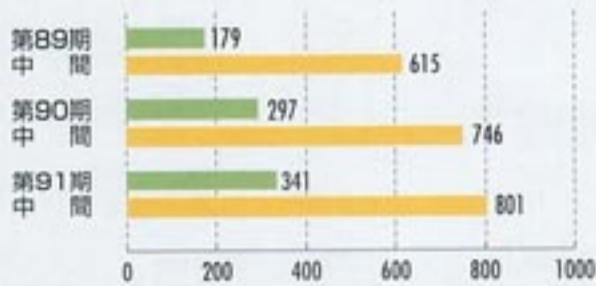
●財務指標

■ 単体 ■ 連結

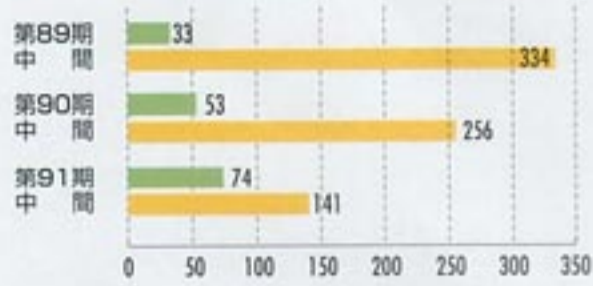
売上高の推移 (単位:百万円)



経常利益の推移 (単位:百万円)



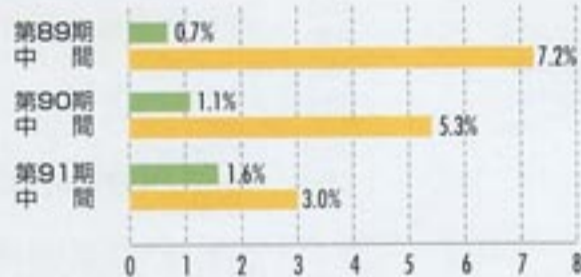
中間純利益の推移 (単位:百万円)



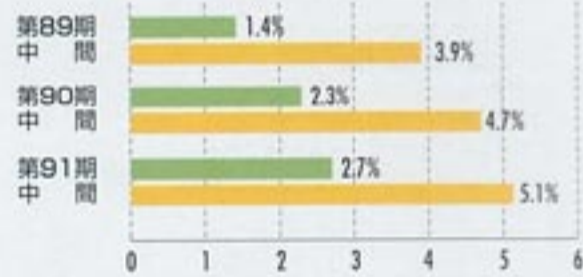
1株当たり中間純利益の推移



株主資本中間利益率 (ROE) の推移



総資本経常利益率 (ROA) の推移



※上記中、ROEは中間純利益/(株主資本[期中平均]/2)、ROAは経常利益/(総資本[期中平均]/2)で計算しています。

株式の状況 (平成16年9月30日現在)

●所有者別分布状況

外国人・証券会社等

0.7%



●株価の推移



● 江守会長が第62回西日本経済同友会大会でパネリストに
グローバル経済のもとでは他にない独自性が不可欠

「地域の自立～特色ある産業の創生とアジアの連帯～」をテーマに第62回西日本経済同友会大会が去る10月14日、福井市のハーモニーホールふくいで開催されました。福井経済同友会特別幹事を務める当社会長の江守幹男がパネルディスカッションに参加。関西経済同友会代表幹事の松下正幸松下電器

産業副会長をコーディネーターに、神戸経済同友会常任幹事の家次恒シスメックス社長、経済同友会副代表幹事・専務理事の渡辺正太郎元花王副社長とともに、地域が自立するためには、企業の国際競争力を高め、産学管連携を通して特色ある産業を育てていく必要があることを話し合いました。



会長の江守幹男は、「21世紀は東アジアの時代。そのカギとなるのが、日本と中国だ」と訴えました

● 株式会社リコー様より優秀仕入企業として表彰
感熱紙用顕色剤「ビスフェノールS」の品質で高い評価

第8回 リコー 全社購買方針説明会



ビスフェノールSのすぐれた品質が評価されました。

当社スペシャリティケミカルカンパニー情報記録材料事業部のお客様である株式会社リコー様より、優秀仕入企業として今年6月10日に表彰を受けました。同社の全社購買方針説明会に当社社長の江守とスペシャリティケミカルカンパニー情報記録材料事業部次長の森塚徹哉が出席。数多く参加した取引企業の中で、当社だけが同社の橋

本誠常務取締役から直接、表彰状を受け取りました。当社ではかねてより、感熱紙用顕色剤「ビスフェノールS」シリーズを同社に販売しています。「高い品質を維持しながらコストダウン要求にも応える当社の姿勢が評価されました。当社が目指す“お客様との感動の共有”を実現できた好例といえます」と江守は話しています。

● びわ湖環境ビジネスメッセ2004に出展
消臭剤・除菌洗浄剤・排水処理剤を出品展示

びわ湖環境ビジネスメッセ2004が去る10月20日から3日間、滋賀県長浜市にある長浜ドームで開催され、当社エコロジー事業部から消臭剤・除菌洗浄剤・排水処理剤などを出品展示しました。同メッセは、環境関連産業の育成を目的に滋賀県などの主催で毎年秋に行わ

れているもので、当社からは、今回初めて出展しました。業務用消臭剤「クリーストAS-300」シリーズをはじめ、排水処理システム用薬剤や除菌洗浄剤などを展示ブースで提案。訪れた多くのお客様から、各製品の機能や特徴について質問を受けました。



琵琶湖を抱え、環境問題に敏感な滋賀県ならではの展示会



食は広州にあり。こう謳われ有名な「広州」が中国のどこにあるか、ご存知ですか？ 中国大陸の南辺、香港から北に車で約2時間、90kmほど走ったところに広東省の省都・広州市があります。広東省は、肥沃な土地と水量豊かな大河に恵まれ、食の宝庫と呼ぶにふさわしいさまざまな物産が集積する地です。本場の広東料理はとにかくおいしい。ちなみに、辛亥（しんがい）革命で有名な孫文も広東省の生まれです。

広東省は熱帯・亜熱帯に属する高温多湿の地域で、面積は北海道の約2倍の178万km²。人口は8,642万人（2000年）。省内には約6,000人の日本人がいます（2003年）。1979年に中国政府が最初に設けた経済特区の4カ所のうち、3カ所がこの広東省にあり、中でも香港近辺の深圳（しんせん）と珠海（じゅかい）には多くの外資企業が進出しています。現在では広州市を扇の要として南に広がる珠江デルタ地域一帯で、広範囲に経済発展が進んでいます。広東省は中国ナンバーワンの工業地区であり、広州市は中国で4番目に大きい工業都市となっています。

産業は、代表的なものは綿織物を中心とした繊維産業で、生産量、輸出量ともに中国全省の中でトップを維持し続けており、全国の繊維関連輸出の26.7%を広東省が占めています。しかし、近年、上海を中心とする華東地区の台頭が目覚しく、国内競争が激化しています。このほか産業構造の転換が進み、IT関連の生産が増えており、広東省全体の輸出入総額は前年比2桁の伸びを示し、これも全国トップを維持しています。

さらに注目すべきは、ホンダをはじめ、日産、2年後にはトヨタなど、日本の主要自動車メーカーが相次いで進出しており、今後益々の発展が期待されます。現状は、主に繊維関連薬剤の製造・販売が中心となっていますが、今後は需要が見込まれるこれらIT、自動車といった非繊維分野への販売も増加させていく予定です。

さて、広州日華化学は1993年に中国との合弁企業（中外合資企業）として設立しましたが、2002年には資本関係を整理して香港日華化学が主に出資する会社となり、外国側100%の企業（外資企業）として生まれ変わりました。NICCAグループの華南地区（広東省を中心とする地域）拠点に位置づけられるとともに、台湾日華化学からも人員の派遣を受け、日本語から中国語を主とする経営体制に移行しました。現在、台湾人5名、中国人61名、そして日本人1名の社員構成となっています。特に中国人は、北はロシアと接する黒龍江省、西は中国大陸の中央部にあり四川省と広い範囲から集まってきており、人間性も多様です。そのため、意思統一を図るには行動を共にすることが重要と考え、毎朝、中国のラジオ体操を行い、週1回の朝礼では日華化学の社是、社訓を斉唱して、NICCAグループの一員としての自覚を社員に促しています。築き上げたチームワークをもとに多くの顧客の信頼を集めることができるよう、広い広東省を昼夜奔走しています。2010年の繊維関連薬剤中国国内シェアNo.1を目標にしながら、電子分野、機械分野関係薬剤の販売も進めていきます。

Report

【海外レポート】世界の日華から

繊維だけでなくIT、自動車産業も拡大。 新たな需要が見込まれる中国・広州



広州日華化学有限公司

副総経理 辻本 章夫



マガリ・ベルマスさん(23)

フランス・カルカソンヌ市出身

福井県工業技術センターとフランス国立繊維・被服研究所の技術交流協定により、フランスから福井県へのインターンシップ生として今年9月に来日。来年6月まで日華化学で研修勤務します。出身地のカルカソンヌ市は、フランス南部にあるスペインとの国境に近い街。

日華化学では、国際交流の一環として多くの外国人研修生やインターンシップ生を受け入れています。今回は、今年9月から研究開発本部テキスタイルケミカル開発部で研修勤務中のマガリ・ベルマスさんにお話をうかがいました。

繊維用スキンケア加工剤「ネオアージュ」など 日華化学の最新技術の発想とメカニズムに関心

フランスのリヨン繊維化学技術院(大学院大学)2年生のマガリさんは、大学での専門がテキスタイル系化学であり、大学からの勧めもあって、日華化学を研修先を選びました。大学の先輩で、2年前、当社にインターンシップに来ていたマチルダ・ダビドさん(本誌第2号で紹介)からも日華化学での研修が有意義だったと聞いたそうです。「前々から日本には興味があり、いつかは行ってみたいと思っていました。伝統的な文化と現代的なテクノロジーがうまく融合しているところに特に関心がありました」とマガリさん。福井の印象は、「親切な人ばかり。特に日華化学の皆さんはフレンドリーで、いろんなことで手助けしてくれます」とのこと。

日華化学の数あるテキスタイル関連技術の中で、マガリさんは、天然エキスをマイクロカプセル化して繊維に接合する繊維用スキンケア加工剤「ネオアージュ」にとりわけ関心を持っています。「テキスタイルとコスメティクスを融合させる技術開発は、フランスでは始まったばかり。日華化学の先進的な技術を自分の目で確かめたい。来年1~2月にネオアージュの研究部署に行けるので、すごく楽しみにしています」とマガリさんは目を輝かせます。

将来は繊維・服飾関係の仕事をしたいというマガリさんにとって、日華化学での研修がのちに生きる貴重な体験になることを期待しています。

がんばってます!!!

福井県実業団柔道・剣道大会で柔道の部、 剣道の部ともに健闘



【写真上】後列左から土山貴寛(鯖江工場)、藤咲智博(同)、山岸隆昭(同)、藤澤寛徳(大阪支店)。前列左から佐々木満(資材部)、谷口浩章(大阪支店)、南洋行(東京支店)【写真下】熱戦を繰り広げる藤咲智博(右)

福井県実業団柔道・剣道大会が去る11月7日、福井県立武道館で開催され、当社から柔道団体の部・個人の部に2名、剣道団体の部・個人の部に5名が出場しました。主催の福井県実業団柔剣道連盟の会長を当社社長の江守が、副理事長を資材部・佐々木満が、大会事務局を経営企画室秘書チームが務めています。

大会には福井本社、鯖江工場、東京支店、大阪支店から経験者が集まり、強豪ひしめく福井県下の実業団チームを相手に健闘し、柔道・剣道とも団体の部で1勝をあげることができました。来年の大会での更なる活躍が期待されます。

中国語修得を目指し 検定試験にチャレンジ

昨年11月から、当社社員が中国語検定試験に挑戦し、現在、3級・4級・準4級試験に11人が合格しています。

同検定試験は、認定級が1級から準4級までの5段階になっており、例えば3級は「中国語の一般的事項をマスター、同時に自力で応用力を養いうる能力の保証」、4級は「中国語の基礎をマスター」といった評価になります。

グレーターチャイナ構想を展開する当社では、社内に中国語サークルを設け、中国語でのコミュニケーション能力の向上に努めてきました。業務で役立つ中国語の修得に認定取得者をはじめ、多くの社員が取り組んでいます。

【検定認定取得者氏名・所属】

3級→福田肇(品質保証部)、宮腰浩明(テキスタイルケミカル開発部) 4級→市橋直樹(本社工場製造課)、多田宗雄(研究管理部)、加藤幸一(技術部)、稲継崇宏(ローディア日華出向) 準4級→定圭一郎(テキスタイルケミカル開発部)、能村清美(物流部)、田海和美(テキスタイルケミカル開発部)、青山貴晃(ニッカUSA出向)、谷口範洋(スペシャリティケミカル開発部)



昨年11月に実施された第51回中国語検定試験の合格者

「けいたいてんのう継体天皇」

現在の皇室の系図を史料に基づきさかのぼっていくと、5世紀から6世紀にかけて福井で育ち天皇になった継体天皇に行き当たります。福井の豪族だった人物がなぜ天皇になれたのか。今回は、古代史の中で強い存在感を放ちながら謎も多い継体天皇を紹介します。

継体天皇は、わが国の長い歴史の中で、福井の出身者としては初めてその表舞台に登場した人物です。現在の皇室が、その系図を正確にさかのぼることができる最古の天皇とも言われ、古代史の中で重要な位置を占める人物です。

天皇となる前は、男大迹王(おおとのみこ)という名前で、福井を基盤にする豪族でした。応神天皇(おうじんてんのう)の5世孫にあたり、日本書紀によれば、継嗣(けいし)のいない第25代武烈天皇(ぶれつてんのう)が崩御したため、天皇の血統の中から男大迹王がその後継に選ばれたのです。

父親は近江の豪族、母親は福井の豪族の娘で、西暦450年ごろに近江で生まれています。しかし、幼少の頃に父親を亡くしたため、母親の故郷である越前・高向(たかむく)【現在の丸岡町】で育ちました。

5~6世紀ごろの越前には、継体天皇のバックボーンになる強大な勢力が確かに存在したようです。九頭竜川(くすりゅうがわ)が福井平野に流れ込む松岡町や丸岡町の山に同時期の巨大な古墳群が並び、往時の権勢がしのべれます。

福井市内にある弥生時代後期の遺跡からは大量の鉄製品や鉄を加工する鍛冶の跡が見つかっており、武器や農具を生産する製鉄などの技術も越前では発達していたようです。また、伝説では、福井平野の主要な河川である九頭竜川や足羽川(あすわがわ)、日野川(ひのがわ)は男大迹王によって治水されたとされ、越前は、当時の日本では有数の豊かな地域だったと想像されます。

天皇への即位は57歳の時。武烈天皇の死後、大和の豪族・大伴金村(おおとものかむら)が男大迹王に天皇となるよう招請に赴き、男大迹王は一度は辞退しますが、大伴金村の強い説得に最終的には応じて西暦507年に皇位継承を承諾します。

しかし、継体天皇はすぐに大和入りはしていません。継体天皇の皇位継承に異論のある豪族がいたからでしょう。最初は河内(かわち)で即位し、続いて同じ淀川水系の二カ所に都を設けた後、即位から実に20年後に大和入りしました。

在位中には古代で最大の内乱に直面します。西暦527年に九州の筑紫国造・磐井(つきのくにのみやつこ・いわい)が朝鮮半島



足羽山山頂にある継体天皇の像。福井平野の治水伝説にちなみ、九頭竜川の河口を見つめるように立っている

の新羅(しらぎ)と結んで反乱を起こし、継体天皇はその鎮圧に1年を要しました。ふりかかる国難を老練な政治手腕と強いリーダーシップで切り抜けたのです。

その後、継体天皇は西暦532年2月7日、82歳で亡くなったと言われています。

半ば青天のへきれきであったであろう天皇就任と激動の後半生。福井市の足羽山山頂にある足羽神社は継体天皇を祭神としており、その魂が静かに古里の地を見守っているようです。

笑顔

研究開発の経験を生かし、お客様の問題解決に努める



大阪支店
テキスタイルケミカルグループ
藤澤 寛徳
(繊維製品品質管理士)

衣料メーカー、産業資材メーカーを
お客様に、精練剤や染色助剤などの
繊維加工薬剤の販売に取り組んでい
ます。営業歴は5年。大学では化学を
専攻し、入社1年目も研究開発部門に
いたので、技術的なことはある程度
は分かります。提案した仕様の製品
が採用された時にはやりがいを感じ

ますね。特に新製品の場合は、プレ
ゼンテーションからお客様の購入が
決まるまでのプロセスが複雑になっ
たり時間がかかったりするだけに、ひ
としおです。営業マンとしてはまだ
まだ“駆け出し”で勉強することも
多いので、諸先輩方にこれからも学
んでいきます。

編集後記

■この夏の福井豪雨は、久しく大きな自然災害のなかったわが福井に思いもよらぬ多大な被害をもたらしました。自然の力には勝てません。むしろ、いかにうまく自然とつきあいながら人々の暮らしやすさを、よりよい環境を、生み出していけるのか。こんなところにも素朴なきっかけをひらめかせ、皆様の生活にお役立ちできる製品をご提供できればと考えております。皆様のご支援ご鞭撻をよろしくお願いいたします。